

IAUD Newsletter vol.16 第8号(2023年11月号)

1. IAUD創立20周年記念特集 未来への提言⑧国際UD研究講座開講…………… 1
2. UD検定オンライン初級第31回及び中級第20回開催のご案内……………6
3. IAUD2023年11月の予定……………6



## リカレント教育や経営幹部養成プログラムに活用

IAUD創立20周年特集 未来への提言⑧国際UD研究講座開講

### なぜUDに至ったか

障害者が直面すること(BF)に焦点を当てていたが、それが多かれ少なかれすべての人の問題(UD)だという認識に変わっていった

BFの始まりは第二次世界大戦時のペニシリンだ、と言ってもいい  
戦傷退役軍人(Paralyzed Veteran):無視できない数、国家のために  
命を捧げようと戦場に。そこで障害を負った  
帰国したら構築環境とのミスマッチに直面  
是正するにはどうすれば？  
最初は歩車道の段差切り(curb cut)から

10月に開講した国際UD研究講座「UD特論」オンラインでの講義。写真右上は古瀬講師。

日本初のUD推進団体であるIAUDは、2023年11月28日(火)に創立20周年を迎えます。これも、当協議会の創立と発展にご尽力賜りました関係者の皆様、並びに日々の活動にご参加いただきました会員の皆様のご支援とご協力の賜物です。

創立20年を記念して、今年度のNewsletterでは「創立20周年記念特集 未来への提言」を連載しております。

8回目は、創立20年の節目を迎えるにあたり、より研究教育的な事業として2023年10月に開講した、新たなUD思考を身につけるためのオンラインコースを提供する「国際UD研究講座」を特集します。

## 研究教育的な新たな事業 国際UD研究学院設置

IAUDは2003年の創立以来、国際会議の開催やIAUD国際デザイン賞、UD検定、ワークショップやセミナーの開催、そして様々なテーマに基づく研究開発などを通じて、UDの普及と振興に努めてきました。そして、より研究教育的な事業として、この度「国際UD研究学院」を設置しました。

UDは、障害者や高齢者向けのデザインだけを意味するものではありません。ICT化の裏に潜む情報格差、最低賃金制度、女性の管理職登用、人権問題、南海トラフ巨大地震対策、国防、SDGsなど、最近のニュースに取り上げられる話題のほとんどはUDに関わる課題といっても過言ではありません。

UDの領域は拡大進化しており、人権意識や社会の持続可能性を考慮したデザイン経営の実践こそがいまやUDの本質です。

「国際UD研究学院」は、拡大進化するUDの課題を解決する思考法を身につけるためのリカレント教育のコースの提供や、最近政府が奨励しているリスキリングを支援します。

そして、一旦企業や団体などに就職した社会人の再教育を通して、UDの本質を理解し、それぞれのビジネスに活用できることを目的としています。



## オンデマンドでいつでも受講可能

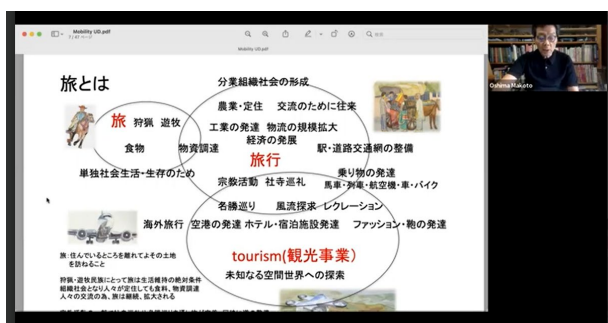
「国際UD研究学院」は、2023年10月10日(火)に「国際UD研究講座2023第1期」を開講しました。

「国際UD研究講座」では、多様なUD領域の中から受講者の個性や能力に応じた選択肢を準備しており、基礎と専門のメソッドを習得できるようなカリキュラムで構成されています。

受講期間は、前期は2023年10月10日(火)から2024年2月19日(月)、後期は2024年3月25日(月)から7月22日(月)です。1講義は90分間で、時間は1講時が18時から19時半、2講時が19時45分から21時15分、3講時が21時30分から22時45分となっています。

講義は全てZoomによるオンラインで行われ、情報保障として日本語の字幕を表示します。1回目はリアルタイムでのオンライン受講となりますが、講義は毎回録画され、講義で使用した資料と共にGoogle Workspaceに格納されるので、いつでも自由にオンデマンドで視聴可能です。

必要単位を修得後、IAUDよりディプロマ(修了証書)を授与します。単位修得に学位論文は不要です。



大島講師によるモビリティ UD 経営特論(左写真)と益田講師によるサステナブルデザイン特論の講義

## 受講者の個性や能力に応じた選択肢

第1期の講義は、前期は8つの特論、後期は7つの特論と3つの演習から成り、受講生は希望の講義を選択できます。

まず導入教育として、社会・人間・生活等、幅広いUD領域の中から問題を取りあげ、UDの意味と役割を理解し、教養を高める講義を修得します。

さらに、演習課題を通して、観察・発想・展開・表現の観点からUDの表現技術を習得します。

また、各受講生の希望に応じて通年には、コミュニケーションデザイン系、インダストリアルデザイン系、環境デザイン系、デザイン経営系のいずれかを選択して研究テーマを設定し、自ら設定した研究課題に基づいて修了研究を行います。

なお、修了研究は研究課題の指導監督に最も相応しい講師1名を主担当、他2名を副担当とし、受講生1名につき講師3名がアテンドするという、大変手厚い指導体制となっています。修了研究の成果を学会等で発表することは制限せず、むしろ奨励します。

「国際UD研究講座2023第1期」の全講義は下記のとおりです。

※下線がついている科目名称は、クリックするとシラバスに飛びます。なお、科目は順次、改定されます。



久保講師による UD 経営特論の講義

受講期間	科目名称	授業方法	備考
前期	<a href="#">ユニヴァーサルデザイン特論</a>	講義	共通科目
	<a href="#">サステイナブルデザイン特論</a>	講義	共通科目
	<a href="#">インダストリアルデザイン特論</a>	講義	インダストリアルデザイン系
	<a href="#">ユニヴァーサルハウジング特論</a>	講義	環境デザイン系
	<a href="#">ユニヴァーサルデザイン経営特論</a>	講義	デザイン経営系
	<a href="#">建築デザイン特論</a>	講義	環境デザイン系
	<a href="#">モビリティユニヴァーサルデザイン特論</a>	講義	インダストリアルデザイン系
	<a href="#">ユニヴァーサルヘルスケア特論</a>	講義	インダストリアルデザイン系
後期	<a href="#">ユニヴァーサルツーリズム特論</a>	講義	デザイン経営系
	ユニヴァーサルコミュニケーション特論	講義	コミュニケーションデザイン系
	<a href="#">環境デザイン特論</a>	講義	環境デザイン系
	ユニヴァーサルタウンプランニング特論	講義	環境デザイン系
	<a href="#">ユニヴァーサル住宅設備設計特論</a>	講義	インダストリアルデザイン系
	イベントプランニング特論	講義	デザイン経営系
	サイン・コミュニケーション特論	講義	コミュニケーションデザイン系
後期	ユニヴァーサルデザイン演習	講義・演習	UD 検定上級として実施
	インクルーシヴデザイン演習	演習	ワークショップ事業
	<a href="#">サステイナブルデザイン演習</a>	演習	共通科目
前期・後期	修了研究	演習	各受講生がテーマを設定

## 講師陣は著名なUD専門家や有識者

### 古瀬 敏(静岡文化芸術大学名誉教授、工学博士)

担当:UD特論、環境デザイン特論、建築デザイン特論、ユニヴァーサルハウジング特論



建築物の安全性と使い勝手とをずっと研究してきたが、じつはそれらがUDの本質。

住まい、移動、そして教育・就業・楽しみという、生きていく上でのあらゆる場面において、環境デザインがきちんとUDを踏まえて途切れなくできているかが最重要。さもないと目的が達成されないのだ。

### 川原 啓嗣(株式会社キッド・ステューディオ代表取締役、名古屋学芸大学名誉教授)

担当:UD 特論、修了研究



3年余のコロナ禍でリモート教育に慣れたせいも、比較的スムーズに本研究講座のオンライン授業を開始することができている。受講生は真摯に取り組んでおり、授業後のレポートの内容も充実している。質問も多く、こちらも回答についつい熱がこもるため時間を忘れてしまう。

修了研究は、企業に所属する受講生は業務と関連する研究テーマを選ぶことが多く、新たな気づきと学びが本業に生かされることを期待している。

### 久保 雅義(京都工芸繊維大学名誉教授)

担当:UD経営特論、ユニヴァーサルツーリズム特論、ユニヴァーサル住宅設備設計特論



UDに関心をもったのは、ロナルド・メイス氏が1980年代にUDの考え方を提唱したすぐ後。1990年に所属するPanasonic家電部門カンパニーにUDの必要性を説き、UD商品開発部門を設け活動を開始した。UD企業活動を推進するには、経営活動と連動する経営指標提示、市場予測、顧客分析などが求められ、飛躍的な“知”と向き合うことになった。

このことが後に、会社設立時の見識に役立ち、大学教員のときの学びや研究の礎になった。UDを学ぶから、UDで学ぶという効能がある。

### 大島 誠(名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科クラブ顧問)

担当:モビリティUD特論



2023年10月に東京ビックサイトで開催された「Japan mobility show」では、モビリティという表現のもと、パーソナルな移動機器から月面探検車まで様々な乗り物の紹介や将来提案がなされた。我々を取り巻く環境がめまぐるしく変化する今後も、「誰もが移動の自由とその過程を楽しむ」というモビリティUDの考え方は、益々重要になると思われる。

相良 二郎(神戸芸術工科大学芸術工学部長、プロダクト・インテリアデザイン学科教授)

担当: インダストリアルデザイン特論、ユニヴァーサルヘルスケア特論



長年、リハビリテーションセンターで障害者の生活を支える道具や住まいづくり、まちづくりに携わってきた経験と、大学でのプロダクトデザイン教育の経験から、ひとりでも多くの人々が快適に使用できる製品デザインのあり方や、誰もが望む健康な暮らしを支えるヘルスケアのあり方について一緒に考えていきたい。

益田 文和(デザインコンサルタント、株式会社オープンハウス代表取締役)

担当: サステイナブルデザイン特論、サステイナブルデザイン演習



今や、あらゆるデザインにとっての基本的な枠組みとなっているサステナビリティ、つまり、これから先もずっと続けてゆけるような、オルタナティブな(これまでとは異なる新たな)文明、社会、文化、暮らし、価値観、を生み出すという考え方は、UDの目指す方向性と合致する。

従って、サステイナブルデザインの趣旨と方法論について研究し、実践することによって、これからの社会をデザインするうえで欠くことのできないUDの軸をしっかりと立てることができる。

## 第1期受講生募集中!

現在、「国際UD研究講座2023第1期」(2023年10月~2024年7月)の受講生を募集中です。

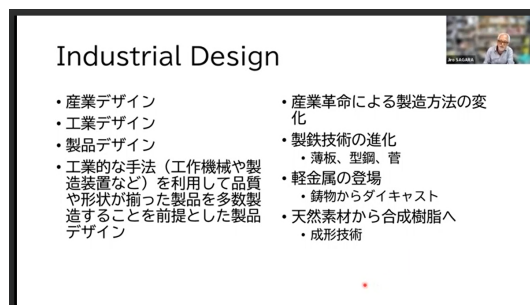
10月10日(火)に開講しておりますが、すでに終了した講義はオンデマンドで視聴できますので、いつでもお申込が可能です。

なお、IAUD会員および学生は受講料が割引になります。

さまざまな立場の方の積極的なご参加をお待ちしております。

※国際UD研究講座の詳細や募集要項は[こちら](#)をご覧ください。

※国際UD研究講座2023第1期シラバスは[こちら](#)をご覧ください。



相良講師のインダストリアルデザイン特論講義



## 在宅で好きな時にUD資格習得

### UD検定オンライン 初級第31回及び中級第20回開催のご案内

IAUDは、「UD検定初級第31回」「UD検定中級第20回」をオンラインで開催します。

「UD検定・初級」は、UDに関する基礎的な知識を学習する講習と力試し問題、検定試験(30分・50問)のセットです。問題は全て受講した講習内容から出題されます。

「UD検定中級」は、力試し問題と検定試験(70分・129問)を受けていただきます。試験問題は、公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」に準拠して出題されます。受験される方は事前に公式テキストブックをご購入し、ご自身で学習された後に試験をお受けください。



公式テキストブック

初級、中級とも合否は検定試験終了後すぐに判定され、合格者には認定証を発行します。

「UD検定オンライン初級第31回」の申し込み受付は**11月9日(木)**まで、「UD検定オンライン中級第20回」の申し込み受付は**12月20日(水)**までです。この機会にぜひ、ご利用ください。

※「UD検定初級第31回」の詳細及びお申込みは[こちら](#)をご覧ください。

※「UD検定中級第20回」の詳細及びお申込みは[こちら](#)をご覧ください。

※「UD検定オンライン第1回初級」開催報告のNewsletterは[こちら](#)をご覧ください。

※「UD検定オンライン第1回中級」開催報告のNewsletterは[こちら](#)をご覧ください。

## IAUD 2023年11月の予定

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3 文化の日	4	5
6	7	8	9 UD検定初級 申込締切	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 勤労感謝の日	24	25	26
27	28	29	30 14:50~ 衣のUDPJ @オンライン			

次号は2023年12月上旬発行予定

特集：創立20周年記念特集⑨

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 事務局

<http://www.iaud.net/>

e-mail:[info@iaud.net](mailto:info@iaud.net)

Instagram: [iaud.info](#)

LinkedIn: [international association for universal design](#)